

## ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(令和元年7月分)

令和元年8月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

### 1. 国内情勢

#### (1) 国家レベル

#### (2) エンティティ、特別区

ア. ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

イ. スルプスカ共和国(RS)

### 2. 外政

#### (1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

#### (2) 二国間関係

### 3. 経済

#### (1) 経済指標

#### (2) 経済政策・公共事業

#### (3) 経済協力

(注: 以下は、当地紙報道等の公開情報を取りまとめたものです。)

### 1. 国内情勢

#### (1) 国家レベル

##### ● 主要各党幹部、国及びBH連邦の政府発足には数か月を要すると発言(5、28日)

主要各党幹部は、国及びBH連邦の政権発足には数か月を要すると発言。5日、イゼトベゴビッチSDA(ボシュニャク系最大政党)党首は、新閣僚評議会及びBH連邦政府の発足には3～4か月を要すると発言。また28日にはチョービッチHDZ(クロアチア系最大政党)党首が、新閣僚評議会の発足は最速でSDA党大会(9月21日に開催予定)後になる旨述べた。

##### ● BH憲法裁、クリシュトBH議会下院議長による違憲申し立ての審理中止を決定(5日)

BH憲法裁判所は、クリシュトBH議会下院議長(HDZ、クロアチア系)が2018年に提出

した、BH連邦議会上院議員の選出に関するBH連邦憲法条項(3構成民族(ボシュニャク系、セルビア系、クロアチア系)から最低一人をカントン毎に選出することを規定)の違憲申し立てに関する審理中止を決定。同決定は、クリシュト議長が5月23日に違憲申し立てを取り下げたことを受けたもの。

##### ● 第24回スレブレニツァ虐殺追悼式典の催行(11日)

スレブレニツァ市(RS)のポトチャリで、第24回スレブレニツァ虐殺追悼式典が開催され、ジャフェロビッチ大統領評議会メンバー(ボシュニャク系)のほか、インツコOHR上級代表、坂本秀之駐BH日本大使らが出席。インツコ上級代表は式典後、ジェノサイドの否定を禁止する法律制定の意向を発言。同発言に対してディック大統領評議会議長(セルビア系、

7月19日まで議長職)は、上級代表が同法案制定を強制する場合、RSはBHからの独立を問う住民投票を実施すると反発した。

●大統領評議会、クロアチア政府へのペリエシャツ橋建設中止要請を決定するも、ドディック・メンバーがVNIの権利を行使(16、17日)

大統領評議会は、BH南部のネウム市(BH連邦)沖でクロアチア政府が進めるペリエシャツ橋建設の中止要請を、コムシッチ(クロアチア系)及びジャフェロビッチ(ボシュニャク系)両メンバーの賛成により決定。一方でドディック議長(セルビア系)は同決定の履行阻止を求め「民族の死活的利益」(VNI)の権利を行使。RS国民議会は17日の会合で、ドディック議長による同権利行使を3分の2以上の賛成により承認、これにより大統領評議会決定の履行が差し止められた。

●ボシュニャク系政府要人、スレブレニツァ虐殺をめぐる蘭最高裁判決を批判(19日)

オランダ最高裁判所がスレブレニツァ虐殺に対する同国政府の責任に関する判決を下したことを受け、ジャフェロビッチ大統領評議会メンバー(ボシュニャク系)は声明を発表。同判決がオランダ政府の虐殺に対する責任を全被害の10%と判断したことに対して、ジャフェロビッチ・メンバーは、オランダ軍はスレブレニツァ国連保護地域の全住民の保護任務に就いていたと強調し、オランダ政府は虐殺の全犠牲者に対して責任を有していると述べて同判決を批判した。

●BH裁判所、BH中央銀行理事2名の解任決定の履行を差し止め(19日)

BH裁判所は、大統領評議会が6月19日

の会合で下したBH中央銀行理事2名に対する解任決定の履行差し止めを決定。大統領評議会による今次解任決定をめぐっては、後任人事の遅れにより中央銀行理事会の機能がストップする可能性への懸念が高まっていた。なお今後、BH裁判所は同問題に関する最終的な判断を下す予定。

●コムシッチ新大統領評議会議長(クロアチア系)の就任(20日)

コムシッチ新大統領評議会議長(クロアチア系)が、ドディック前議長(セルビア系)に代わり就任。大統領評議会の議長職は8か月ごとの輪番制であり、コムシッチ新議長の任期は2020年3月19日まで。

●閣僚評議会、7～9月期分の暫定予算を承認(23日)

閣僚評議会は、本年4～6月期分の暫定予算の期限が6月30日に切れたことを受け、7～9月期分の暫定予算を承認。なお本年10月以降のBH国家予算に関しては、2019年予算の成立もしくは閣僚評議会による再度の暫定予算(10～12月期分)の承認が必要となる。

●クロアチア政府による核廃棄物処理施設の建設計画に反対する抗議集会の開催(29日)

クロアチア政府が、同国中部でBHとの国境から850メートル付近の地に核廃棄物処理施設を建設する計画に対し、同計画に反対する市民が、サラエボの在BHクロアチア大使館前において抗議集会を開催。同日にはシャロビッチBH対外貿易・経済関係相(セルビア系)が当地メディアに対して、同問題の解決には大統領評議会の対応が必要であると述べると

ともに、国際社会に同問題の解決に向けた協力を求めるべきであると発言した。

## (2) エンティティ、特別区

### ア. ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

#### ●ヘルツェグ・ボスナ・ラジオTVがTV放送を再開(1日)

ヘルツェグ・ボスナ・ラジオTV(RTVHB、クロアチア系)は、本年4月のBH通信規制庁による地上波放送の許可付与を受け、地上波TV放送を再開。RTVHBは、BH紛争中の1993年にヘルツェグ・ボスナ・クロアチア人共和国の公共放送局として設立されたものの、紛争後の1999年にメディア独立委員会により放送禁止処分を下されていた。

#### ●トウズラ・カントン政府が発足(20日)

トウズラ・カントンでは、SDA、DF、SBB、SDP、BHのための党(SBiH)の5党による連立政権が発足。同カントン議会は、トウルモビッチ現BH連邦議会下院議員(SDA)をカントン首相に指名した。

### イ. スルプスカ共和国(RS)

#### ●BH紛争中のセルビア系犠牲者の追悼式典が開催(6日)

BH東部ポドリニェ地方のブラトゥナツ市(RS)で、BH紛争中のセルビア系犠牲者に対する追悼式典が開催され、ドディック大統領評議会議長(セルビア系)らが出席。同式典でドディック議長は、西側諸国とサラエボの中央政府は、セルビア系をBH紛争における一方的な加害者に仕立てようとしていると批判するとともに、同地方におけるセルビア系住民の被害を強調した。

#### ●RS・セルビア首脳会談(26日)

ツビヤノビッチRS大統領(セルビア系)は、セルビアのベオグラードにおいて、同国のブルナビッチ首相との間で会談を実施。両首脳は、BH東部のブラトゥナツ市(RS)とセルビアのリュボビヤ市の間に架かるブラトリュブ橋の早期開通に向けた協力を、BHの各政府機関及び欧州委員会のハーン近隣・拡大政策担当委員に対して求める方針で一致。なお同橋の開通に向けては今後、BH側が同橋の出入口前に国境通過ポイントの建設を完了する必要がある。

## 2. 外政

### (1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

#### ●EU・西バルカン首脳会合(4～5日)

ポーランドのポズナンでEU・西バルカン首脳会合が開催され、BHからズビズディッチ閣僚評議会議長(ボシュニャク系)、ツルナダク外相(セルビア系)、及び、シャロビッチ対外貿易・経済関係相(セルビア系)が出席。同会合では、コソボによるBH及びセルビアからの輸入産品に対する100%の関税措置も議題となり、シャロビッチ対外貿易・経済関係相は、EU加盟諸国に対して同関税の撤廃に向けたコソボ政府への圧力強化を要請した。

#### ●南東欧協力プロセス会合の開催(8～9日)

南東欧協力プロセス(SEECP)の首脳・外相会合がサラエボで開催され、BHから大統領評議会3メンバー及びツルナダク外相(セルビア系)が出席。同会合に出席した12か国の代表は、南東欧地域の連結性向上及びEU加盟プロセスの現状などを協議した。なおコソボ政府は、BH政府がコソボの地位問題が未解

決である旨を記した招待状書簡を参加各国に送付したことに反発し、開催直前の7日に両国会への不参加を決定。またアルバニアも外相会合への出席を見送った。

## (2) 二国間関係

### ●BH・トルコ首脳会談(8日)

BH大統領評議会3メンバーは、サラエボでエルドアン・トルコ大統領との間で会談を実施。両国首脳は経済、農業、交通などの分野における両国関係の強化を協議したほか、サラエボ・ベオグラード間の高速道路建設の加速化の必要性を確認した。なお、エルドアン大統領は同会談において、BH在住のギュレン運動(注:トルコ政府は2016年の同国クーデター的首謀グループとしてテロリスト集団と指定)関係者の身柄引き渡しをBH側に対して要求した。

### ●グラバル＝キタロビッチ・クロアチア大統領、BHがイスラム教過激派の支配下にあると発言(30日)

イスラエルの日刊紙イエルサレム・ポストは、キタロビッチ・クロアチア大統領がイスラエルのリブリン大統領との間で行った会談中、イスラム教過激派がBH政治中枢を影響力下に置き、BHの政治的決定を行っている旨発言したと報道。一方でグラバル＝キタロビッチ大統領は同報道内容を否定。同発言をめぐる報道を受け、コムシッチ大統領評議会議長(クロアチア系)は、同発言が悪質な嘘であると述べるとともに、グラバル＝キタロビッチ大統領は意図的に虚偽の発言を重ねていると批判した。

## 3. 経済

### (1) 経済指標(BH統計庁)

### ●GDP

2019年1～3月期のBHのGDPは、前年同期比で2.2%のプラス成長。

### ●産業生産指数

2019年6月の産業生産指数は、季節調整後の数値で前月比1.4%のマイナス、前年同月比では2.1%のマイナス。

### ●貿易収支

2019年1～6月期の輸出額は、前年同期(2018年1～6月)比で0.1%のプラスで58億2,900万KM(約29億1,450万ユーロ)、輸入額は前年同期比で4.5%のプラスで97億7,900万KM(48億8,950万ユーロ)。輸出額から輸入額を引いた貿易収支は39億5,000万KM(19億7,500万ユーロ)の赤字。輸出・輸入額の上位5か国は以下の通り。

BHからの輸出	BHへの輸入
①ドイツ	①ドイツ
②クロアチア	②イタリア
③イタリア	③セルビア
④セルビア	④クロアチア
⑤オーストリア	⑤中国

### ●雇用／失業率

2019年5月の失業者数は40万6,685人。2017年の同月を基準値(100)とする前年(2018年)同月比で8.9%、実数にして4万3,382人の減少で改善傾向。

### ●平均給与

2019年5月の平均給与(手取り)は926KM(約463ユーロ)で、前年同月比で5.1%

のプラス。

#### ●消費者物価指数

2019年6月の消費者物価指数は前月比で0.5%のマイナス。

#### ●観光客数

2019年1～5月にBHを訪れた観光客数は53万4,642人で、前年同期比で8.8%のプラス。

### (2) 経済政策・公共事業

#### ●通信ローミング料金の段階的引き下げの開始(1日)

BHを含む西バルカン地域6か国において、通信ローミング料金の段階的な引き下げが開始。今回の料金引き下げは、本年4月の西バルカン・デジタル・サミットで締結された通信ローミング料金引き下げ合意に基づく措置であり、BHを含む西バルカン地域6か国では、2021年にかけて漸次的に同料金が引き下げられ、最終的には無料化される見通し。

#### ●EUがBHからの卵加工製品の輸入を解禁(9日)

動植物及び食品に関するEUの常設委員会は、BHからEU加盟諸国への卵加工製品の輸入解禁を決定。シャロビッチBH対外貿易・経済関係相(セルビア系)は、同決定を歓迎するとともに、BHからEU加盟諸国へのパスタやパンなどの輸出に期待を示した。

#### ●公営アルミニウム精錬企業アルミニ社の操業停止(10～11日)

10日、モスタル市(BH連邦)の公営アルミニウム精錬企業アルミニ社は、電力料金の未

払いなどによる総額2億ユーロの負債を背景に操業を停止。一方で、11日には操業停止に反発する多数の従業員らがモスタル市内のHDZ(クロアチア系最大政党)党本部前で抗議集会を開催し、アルミニ社の経営危機に対する同党の責任を強く批判した。なお、チョービッチ同党党首は、今後アルミニ社の操業再開に向けた努力を行っていく旨発言している。

### (3) 経済協力

#### ●高速道路欧州回廊5c線の建設にEUが追加支援(5日)

EUとBHは、高速道路欧州回廊5c線のBH国内3区間の建設に、EUが9,680万ユーロの追加支援を行うことで合意。同合意は、7月4～5日にポーランドのポズナンで開催されたEU・西バルカン首脳会合でまとめられたインフラ整備支援計画の一部である。

#### ●EUがBH農業分野に160万KMの支援(29日)

EU4Business(BHを含むEU非加盟国の中小企業支援を行うEUのイニシアチブ)は、BHの農業分野支援として、10の国内中小企業に対する総額160万KM(約80万ユーロ)の資金供与式を実施。